

環境教育ワーキンググループの2011年度の活動について

1 情報の収集と提供

- これまでホームページ（kushiro-ee.jp）に掲載した実践校について、今年度の実践状況についてヒアリングを行い、変更事項等についてホームページに掲載する。

⇒HP掲載校について今年度の実施状況について情報収集を行い、継続校について今年度の実施内容をとりまとめる。

⇒WEBに公開している団体・施設等の情報：連絡先や対応内容等について、WEBの情報更新を行う。

- 教科学習での活用促進を目的に今年度取りまとめる資料等について、学校への周知を行うほか、掲載に支障がないものについてはホームページに掲載する。

⇒第8回、第9回WGを経て、教科学習で学校に活用いただきたい資料をとりまとめる。

⇒とりまとめた資料は各学校見本として1部程度印刷物として配布するとともに、WEB掲載可能なものはHPに掲載する。またWEBに掲載が出来ないものについては問い合わせに応じて事務局にて対応する。

2 湿原を題材とした学習と教科学習との関連性の整理

- 5・6年生理科、社会科について、学校に提供できる情報として具体的に取りまとめを進める。

⇒5・6年生理科社会について第7回WGで出された案および教師用指導書を参考に、具体的な案（学校に情報提供する内容・素材）を事務局で作成し、第8回WG、第9回WGを経てとりまとめる。

3 教員研修の実施

(1) 流水による環境の変化～体感！蛇行河川の復元現場

茅沼旧川復元事業地をフィールドに、理科の視点から流水による土地の変化（土砂等の堆積状況、植生の変化）をカヌーで川を下りながら体感するとともに、社会科の視点から直線化の理由と再蛇行化の理由、再生の考え方等を学ぶ。

[日程] 2011年7月24日（日）

[参加者] 釧路管内の小学校・中学校教員6名参加

標茶町立標茶中学校、標茶町立磯分内小学校、釧路市立釧路小学校、釧路町立富原小学校、釧路町立富原小学校、浜中町立茶内中学校

[講師] 新庄 久志 氏 (釧路国際ウェットランドセンター主任技術委員)

[プログラム]

- 8:30 塘路湖エコミュージアムセンター集合。オリエンテーション。
- 8:45 事業地の説明、プログラム内容についてレクチャー
- 9:00 事業地へ移動
- 9:28 カヌーでの漕行開始 (茅沼～すがわら)
- 11:43 すがわら着、塘路湖エコミュージアムセンターへ移動
- 12:03 昼食休憩
- 12:27 調査結果のシェアと先生方の感想共有
- 13:30 解散

(2) 体感！釧路湿原～理科と社会の視点から

釧路町達古武・細岡地域をフィールドとして、豊富な湧水など自然の恵みに支えられた先人の生活・文化を学ぶとともに、達古武湖で繁茂しているヒシの生活史、ヒシの繁茂による湖への影響や従来 of 自然に戻す取組等を学び、理科および社会科の視点から湿原環境を捉えるきっかけづくりを行う。

[日程] 2011年9月1日(木)

[参加者] 釧路市内の小学校・中学校教員 21名程度 (予定)

[講師]

- ・坪岡 始 氏 (標茶町郷土館 学芸員)
- ・牛崎 方恵 氏 (塘路湖エコミュージアムセンター 指導員)

[共催] 釧路教育研究センター

[プログラム]

- 10:00 細岡ビジターズラウンジ駐車場集合。オリエンテーション。
- 10:06 午前プログラム (周辺の環境が育んだ私達の祖先の暮らし) 開始
 - 本州とは異なる北海道の先史文化について (ビジターズラウンジ周辺)
 - 細岡周辺の古地形と自然環境 (細岡展望台)
 - 遺跡の立地について (実際の遺跡を見学)
 - 環境への順応 (ビジターズラウンジ周辺)
- 11:34 達古武湖オートキャンプ場へ移動・昼食
- 12:58 達古武地域の概要、環境変化、事業地の説明
- 13:16 ヒシに係る講話・カヌーによるヒシ取り (2班に分かれて活動)
- 14:34 ヒシの調理・試食
- 15:05 ふりかえり
- 15:50 解散